

統合医療における 小動物の皮膚疾患に対する 治療法と症例報告

上原愛童 D.V.M

あまみ動物病院

1. 病院紹介

2. 統合医療とは

統合医療とは

- これまで多くの医療機関などで実践されてきた医療は、「対症療法」を中心とした近代西洋医学を根本としてきました。
- しかし昨今、国際的な医療の趨勢(すうせい)は、単に病だけではなく、人間の心身全体を診る「原因療法」を中心とした伝統医学や相補・代替医療も必要であるという考え方に急速に移行しています。
- 統合医療とは、二つの療法を統合することによって両者の特性を最大限に活かし、一人ひとりの患者に最も適切な『オーダーメイド医療』を提供しようとするものです。

(日本統合医療学会 HP より)

統合医療の目指す方向性

1. QOLの向上を目指し、患者一人ひとりに焦点をあてた患者中心の医療
2. 近代西洋医学及び伝統医学や相補・代替医療従事者による共同医療（真のチーム医療）
3. 身体、精神のみならず、人間を包括的に診る全人的な医療
4. 治療だけでなく、疾病の予防や健康増進に寄与する医療
5. 生まれてから死ぬまで一生をケアする包括的な医療
6. 「尊厳ある死(Death with Dignity)」と、患者だけでなく残された遺族も満足できる「良質な最期のとき(QOD:Quality of Dying and Death)」を迎えるための医療

日本統合医療学会HPより

3. 当院における皮膚疾患 の統合医療的アプローチ

皮膚疾患の分類

分類	主な皮膚病
アレルギー	ノミアレルギー、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー
感染症	疥癬、毛包虫症、皮膚糸状菌症、マラセチア性皮膚炎、膿皮症
免疫介在性	落葉状病日疱瘡、円板状エリスマトーデス、多形紅斑、
腫瘍性	上皮向性リンパ腫
内分泌性	副腎皮質機能亢進症、甲状腺機能低下症、性ホルモン失調
遺伝性	脱毛症X、周期性臍部脱毛症、淡色被毛脱毛症、パターン脱毛、先病日性魚鱗癬
代謝性	脂質代謝異常、ビタミンA欠乏、ビタミンB6欠乏、亜鉛欠乏
心因性	問題行動による脱毛(舐性皮膚炎)
外傷	創傷、熱傷、凍傷、

当院における皮膚病の統合医療的アプローチ

■ 栄養的アプローチ

- 食事(ドライフードを避け、ナマ食raw food、手作り食、缶詰を推奨)

■ サプリメント

- 免疫調整、抗炎症、血行改善
- 腸内フローラのサポート
- ビタミン、ミネラル補給
- 精神の安定

■ スキンケア

■ 投薬 (短期間最小限)

■ 伝統医療

- 漢方、ホメオパシー、靈氣

■ オゾン療法

■ 行動学的アプローチ

4. 症例報告

症例報告① キナコ

■種類

- マンチカン
避妊済み雌 1歳11ヶ月令(初診時)



■症状

- 耳介部の痒み
- 後肢によりかきむしり、紅斑、潰瘍、脱毛。
- ステロイド、抗生剤、漢方、サプリ、外用を試したが、痒み、自傷行為が収まらず、第238病日より、エリザベスカラーを常時装着。自傷行動が抑制され、皮膚が改善しカラーを外すと、すぐ掻き壊し潰瘍が形成。

症例報告① キナコ

■第256病日



症例報告① キナコ

■第287病日 3.48KG



症例報告① キナコ

■第301病日



症例報告① キナコ

■第315病日



症例報告① キナコ

■第322病日



■第335病日

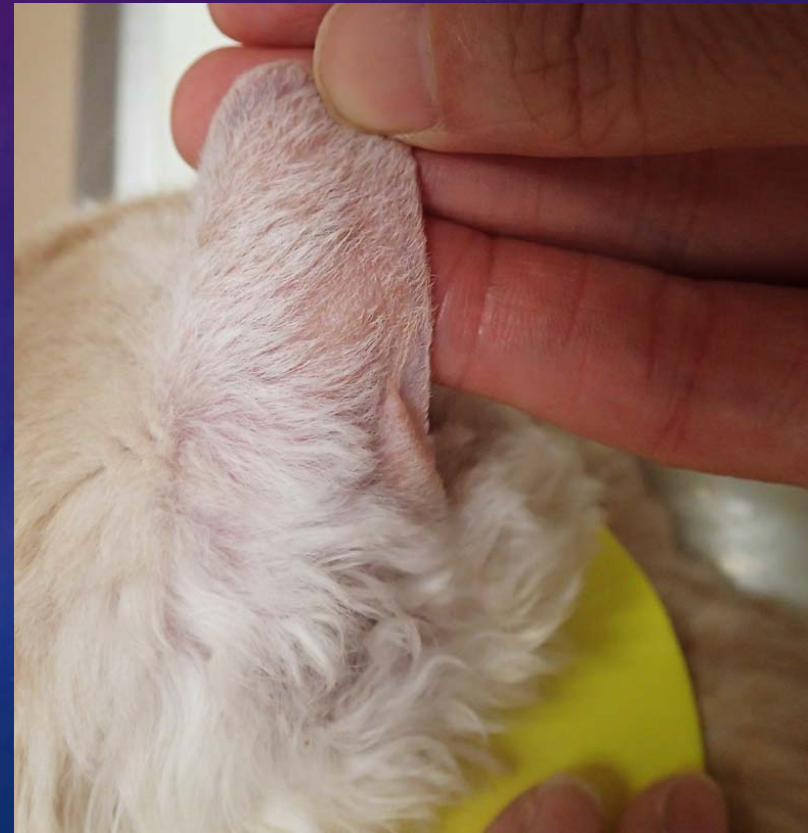


症例報告① キナコ

■第378病日

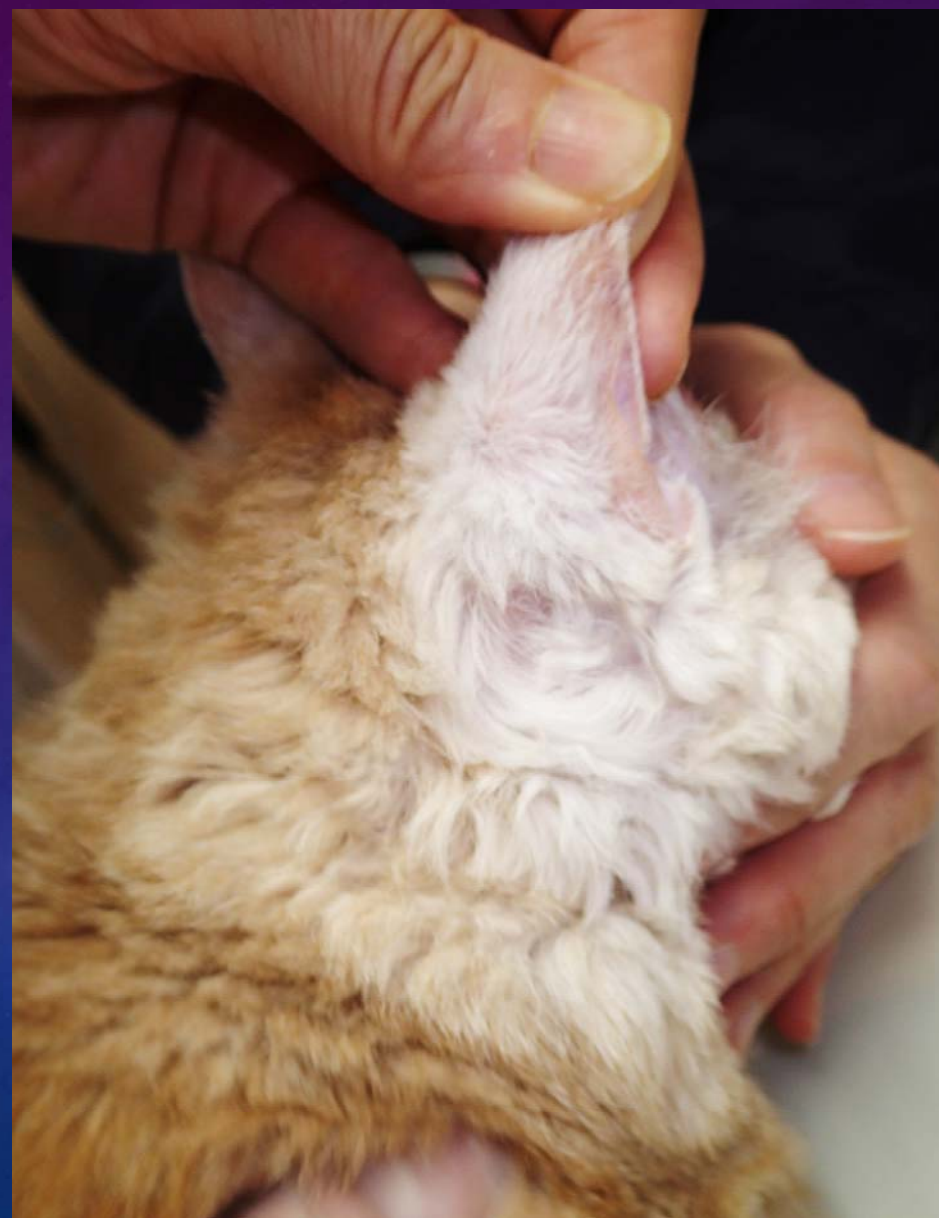


■第392病日



症例報告① キナコ

■第427病日



症例報告① キナコ

■第287病日



■第427病日



症例報告① キナコ

■考察

- 痒み、自傷行動が中心で、
脱毛が長期間改善されなかった症例
- 発毛にはTorichoSは有効だったが、
自傷行動の原因が痒みだけではなく、
常同行動も関与したため、
ミルクプロテインの併用により完治に至った。



症例報告② エース

■種類

- パピヨンとシーズーのミックス
未去勢雄 4歳令(初診時) 8.12kg



■既往症

- 心肥大 NT pro BNP 1113(参考値 <900)
- 心電図 P波、R波の増高

症例報告② エース

■第1病日

- 顔面(特に目、口の周囲)の紅斑、脱毛
- 臀部 表在性膿皮症 (Hot spot)
- 顕微鏡にて、好中球、球菌を確認
- アレルギーと細菌感染の併発を疑う



症例報告② エース

■第1病日



症例報告② エース

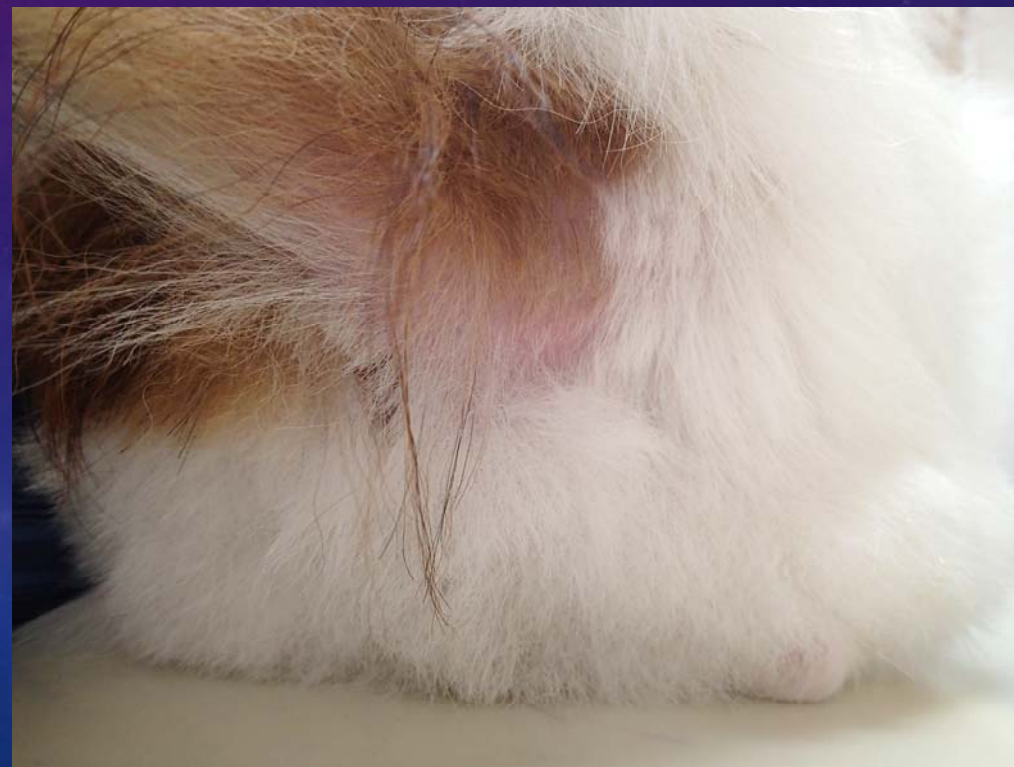
■治療

- セフォベシンナトリウム注射(2週間作用)
- パンフェノン 2錠 BID 2週間
- ソフィアアクティブ(バイオジェニック) 1/2 BID 2週間
- プレドニゾロン 1錠 SID 3日間



症例報告② エース

■第12病日



症例報告② エース

■第12病日 治療

顔面の紅斑、脱毛は改善、臀部の皮膚炎改善

- パンフェノンS 2錠BID 2週間
- ソフィアアクティブ 1/2BID 2週間

飼い主の希望により医薬品ではなくサプリメントで維持

■第41日以降

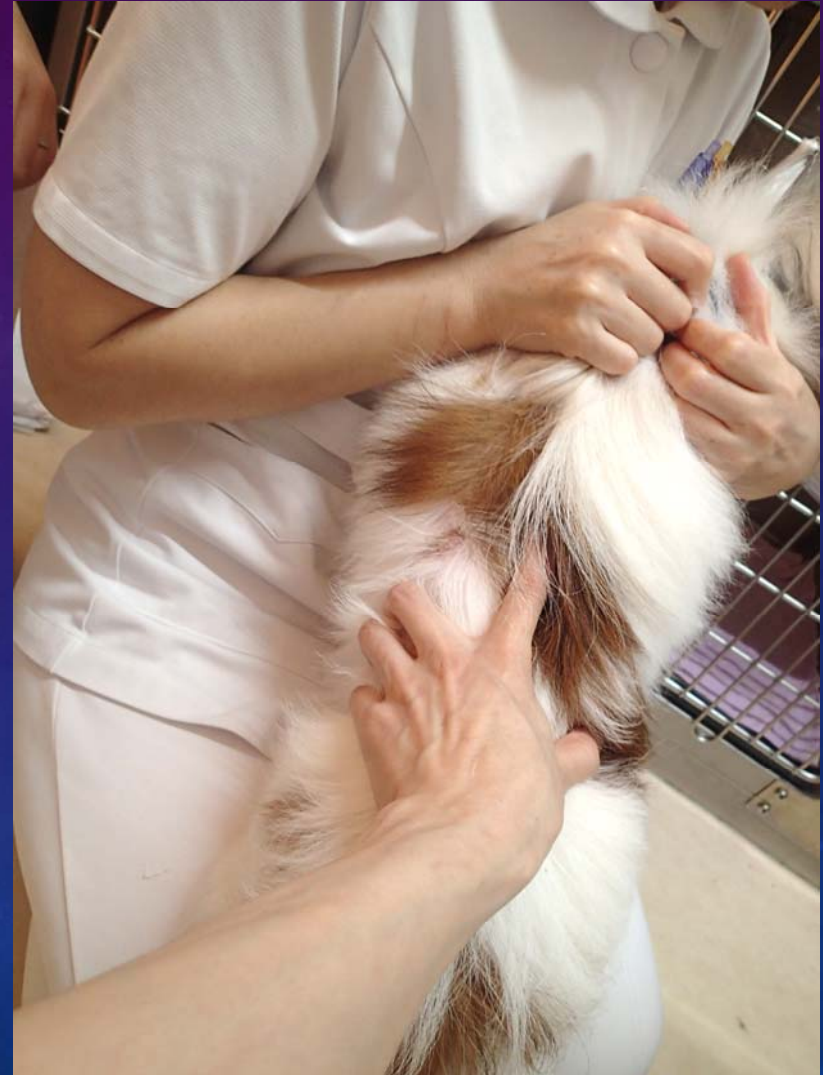
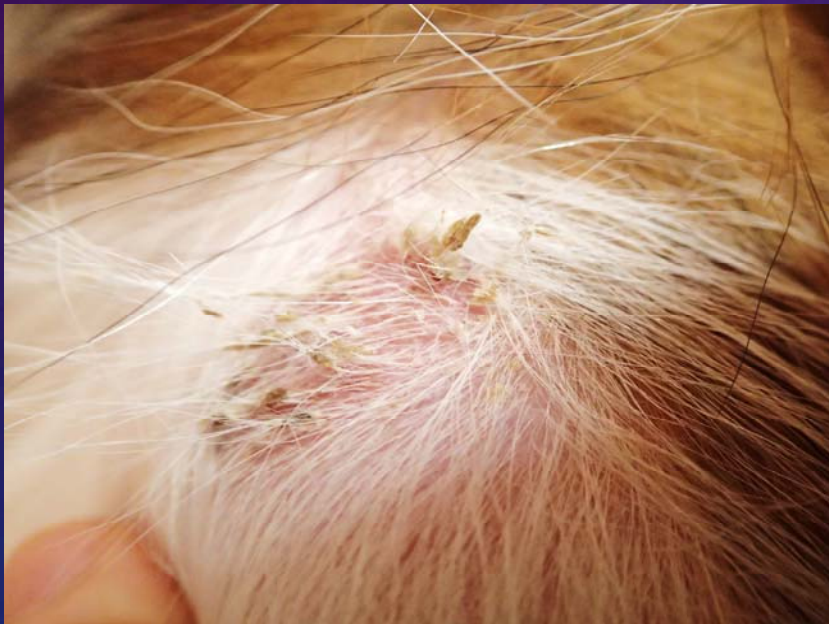
- パンフェノンSのみで維持



症例報告② エース

■第49病日

- 背部に痂皮形成



症例報告② エース

■第49病日 治療

- 食事アレルギーを疑い、食事の変更を指示
- プロテハートシャンプー、パンフェノンS
- ミミピュア(オフロキサシン、ケトコナゾール、トリアムシノロン合剤)を初期に一時的に使用

■現在

- パンフェノンS、プロテハートシャンプーで良好に維持



症例報告② エース

■考察

- アレルギーと心疾患を併発した症例
- 食事の管理とサプリメントで維持
- パンフェノンスは、
心疾患、皮膚疾患両方をサポートするため、
小型犬にとって使用しやすいサプリメント
- シャンプーも同じ成分を使用したプロテハートを併用し、
ステロイド、抗生剤を常用せず、
上手にコントロールできた



症例報告③ ロビン

■種類

- M.ダックスフンド
雄 13歳令(初診時) 5.44kg

■症状

- 左体側部 皮膚炎
- 椎間板ヘルニアにより四肢不全麻痺、寝たまま排尿し、尿による接触性皮膚炎を疑う



症例報告③ ロビン

■治療



- マイクロバブルバス
- トリカキュア
(LPS、ピクノジェノール合剤)



症例報告③ ロビン

■第4病日



症例報告③ ロビン

■第1病日



■第4病日



症例報告③ ロビン

■考察

- 原因の予測できた急性の皮膚炎
- 原因を除去し、その後は
スキンケアだけで、短期間に改善



症例報告④ しらす

■種類

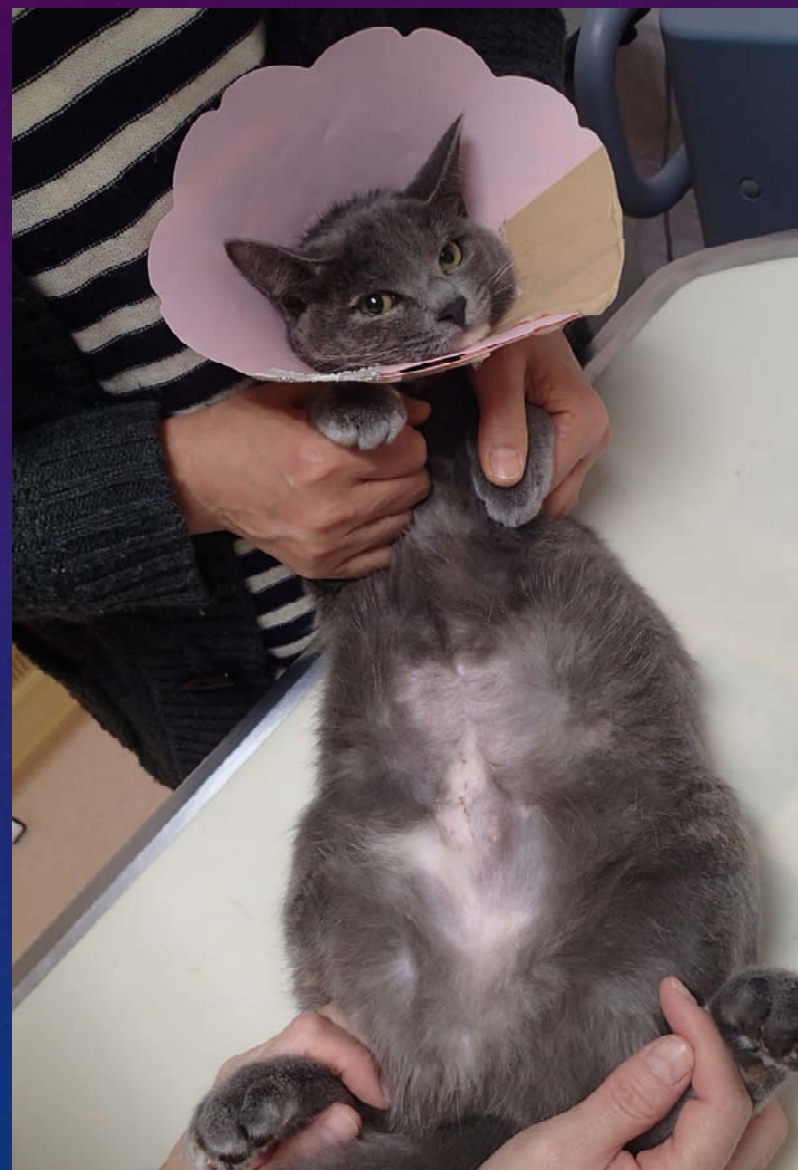
- Mix 猫 雌
6ヶ月令(初診時) 3.88Kg



■症状

- 避妊手術後、切開創周囲の腫脹

症例報告④ しらす



症例報告④ しらす

■治療

- LPSDr 1錠 BID 2週間
投与後1週間で改善したとのこと

■考察

- 炎症にLPSは非常に効果的



まとめ

- 皮膚疾患は多様な症状を示し、多様な対策を必要とする
- 皮膚疾患にはアレルギーや免疫疾患のように長期の治療を要する状況も多々遭遇する
- サプリメントは体に無理な抑制をかけずに、自然治癒をもたらすアイテムの一つ
- 単独で、または医薬品と併用することで、副作用の少ない、体の治癒力を抑制しない、治療が可能になる

ご清聴
ありがとう
ございました

